

JOC ジュニアオリンピックカップ  
第15回全日本女子ユース(U-18)サッカー選手権大会  
実施要項

1. 主 旨 (財)日本サッカー協会は日本国内における女子サッカーの技術向上と健全な心身の育成を図り、広く女子サッカーの普及振興に寄与することを目的とし、高校生・中学生年代の登録選手を対象とした単独チームの大会として実施する。
2. 名 称 JOC ジュニアオリンピックカップ  
第15回全日本女子ユース(U-18)サッカー選手権大会
3. 主 催 (財)日本サッカー協会
4. 主 管 (社)千葉県サッカー協会
5. 後 援 文部科学省、全国高等学校長協会、(財)日本オリンピック委員会、(財)日本中学校体育連盟
6. 協 賛 株式会社ミカサ
7. 協 力 西鉄旅行株式会社
8. 期 日 2012年1月2日(月) <代表者会議>  
1月3日(火)～5日(木) <1次ラウンド>  
1月7日(土) <準決勝>  
1月8日(日) <決勝>
9. 会 場 千葉県(会場調整中)
10. 参加資格
  - (1) (財)日本サッカー協会に女子登録した加盟チームであること。
  - (2) ① 上記(1)のチームに大会参加申込締切日(2011年11月22日)までに登録された1993年(平成5年)4月2日から1999年(平成11年)4月1日までに生まれた選手であること。  
② (財)日本サッカー協会により「クラブ申請」を承認された「クラブ」に所属するチームについては、同一「クラブ」内のチーム間であれば移籍手続きを行うことなく本大会に参加させることができる。この場合、同一「クラブ」内のチームであれば、複数のチームから選手を参加させることも可能とする。  
なお、本項の適用対象となる選手は、同一「クラブ」内のチーム登録種別区分「中学」・「クラブ(中学生)」のチームの選手のみとする。  
※ 但し、予選から本大会に至るまでに、同一選手が異なるチームで再び同一大会に参加申込することはできない。
  - (3) 外国籍選手：5名まで登録でき、1試合3名まで出場できる。

- (4) 移籍選手：予選から本大会に至るまでに、同一選手が異なるチームへ移籍後、再び同一大会に参加申込することはできない。

## 11. 参加チームおよびその数

参加チームは、次の(1)から(4)により選出された16チームとする。

- (1) 9地域より1チーム(9チーム)
- (2) 各地域の比例配分枠(4チーム：関東2、東海1、九州1)  
なお、出場枠の決定方法は下記の通り、①～③の比率により決定する。
  - ① 前年度大会の都道府県大会参加チーム数による比率
  - ② 前年度登録チーム数による比率
  - ③ 前年度登録選手数(大会対象年代)による比率
- (3) 2011年度全日本高等学校女子選手権大会の優勝チームおよび準優勝チーム(2チーム)
- (4) 開催都道府県を代表するチーム(1チーム：千葉県1)

## 12. 競技方法 (1) 1次ラウンド：16チームを4チームずつ4グループに分けてリーグ戦を行い、各グループ

1位チーム(計4チーム)が決勝ラウンドに進出する。

決勝ラウンド：上位4チームによる勝ち抜き方式で行う。(3位決定戦を行う)

- (2) 1次ラウンドにおける順位決定方法は、勝点合計の多いチームを上位とし順位を決定する。

勝点は、勝利3点、引き分け1点、敗戦0点とする。

但し、勝点合計が同じ場合は、以下の項目の順序で順位を決定する。

- ① 全試合の得失点差(=総得点-総失点)
- ② 全試合の総得点数
- ③ 当該チーム同士の対戦結果(勝敗)
- ④ 前記項目が同一の場合は、抽選(当該チーム代表者の立ち会いによる)により決定する。

- (3) 試合時間：1次ラウンド：80分(前・後半40分)

決勝ラウンド：90分(前・後半45分)

- (4) ハーフタイムのインターバル

1次ラウンド：原則として10分(前半終了から後半開始まで)

決勝ラウンド：原則として15分(前半終了から後半開始まで)

- (5) 試合の勝者を決定する方法(前記(3)記載の時間内で勝敗が決しない場合)

1次ラウンド：引分け

決勝ラウンド：20分(前・後半10分)の延長戦を行い、なお決しない場合はPK方式により勝者を決定する。

延長戦に入る前のインターバル：5分

PK方式に入る前のインターバル：1分

## 13. 競技規定 大会実施年度の(財)日本サッカー協会競技規則による。

但し、以下の項目については本大会規定を定める。

- (1) 大会参加申込した最大25名の選手のうち、各試合の登録選手は最大18名とする。
- (2) 交代できる人数は、競技開始前に登録した最大7名の交代要員の中から5名までとする。
- (3) ベンチ入りできる人数は最大12名(交代要員7名、役員5名)とする。

- (4) 本大会において退場を命じられた選手は次の1試合に出場できず、それ以降の処置については本大会の規律・フェアプレー委員会で決定する。
- (5) 本大会期間中に異なる試合で警告を2回受けた者は、次の1試合に出場できない。
- (6) テクニカルエリア：設置する。  
戦術的指示はテクニカルエリア内からその都度ただ1人の役員が伝えることができる。但し通訳を必要とする場合は2人までとする。
- (7) 第4の審判員：任命する。
- (8) アディショナルタイムの表示：実施する。
- (9) 負傷した競技者の負傷の程度を確かめるために入場を許される役員の数：2名以内
- (10) 装身具：一切の装身具の着用を禁止し、装身具を覆うテープの使用も不可とする。

#### 14. 参加申込

- (1) 参加申込し得る人員は、各チーム役員5名・選手25名を最大とする。
- (2) 参加チームは、(財)日本サッカー協会WEB登録システムにて必要事項を入力の上、参加申込み手続きを行うこととする。尚、WEB登録システムの利用方法については、別添資料参照。
- (3) WEB登録締切日：2011年11月22日(火) 15:00
- (4) 上記(3)のWEB登録申込締切以降の申込内容の変更は認めない。

#### 15. 参加料 無料とする。

#### 16. ユニフォーム

大会実施年度の(財)日本サッカー協会ユニフォーム規程による。

但し、以下の項目については特に本大会用として規定を定める。

- (1) ユニフォーム(シャツ・ショーツ・ストッキング)については、正の他に副として、正と色彩(濃淡)が異なり判別しやすいユニフォームを参加申込(WEB登録)の際に記載し、各試合に必ず携行すること(FP・GK用共)。
- (2) シャツの色彩は審判員が通常着用する黒色と明確に判別し得るものでなければならない。
- (3) 選手番号は参加申込の際に登録した選手番号を付けること。ユニフォームのシャツが縞(縦縞も横縞も)の場合は、台地(白布地等)(縦30cm×横30cm位)に背番号を付け、判りやすくする事。
- (4) ユニフォームの色彩、選手番号の参加申込締切日以後の変更は認めない。
- (5) ユニフォームへの広告表示については本協会「ユニフォーム規程」に基づき承認された場合のみこれを認める。尚、会場によって広告掲出料が発生する場合は、チーム負担とする。
- (6) ユニフォームに他のチーム(各国代表・プロクラブチーム等)のエンブレム等が付いているものは着用できない。

#### 17. 試合球 MIKASA 検定球5号(品番:SW550VL-PV)

#### 18. 表彰

- (1) 優勝以下第3位までに表彰状ならびにメダルを授与する。第4位に表彰状を授与する。  
優勝チームには優勝杯を授与し、次回までこれを保持せしめる。
- (2) フェアプレー精神の育成・向上のため、フェアプレー賞を本協会選考基準に従い選考しトロ

フィーおよび副賞を授与する。フェアプレー賞はチーム単位とし、ベスト4に進出したチームの中から選考される。

- (3) 表彰式は試合終了後に試合会場にて行う。

## 19. 交通・宿泊

- (1) 交通について

参加チームの大会参加に要する交通費に対し、本協会より補助金を支払うものとする。

下記に基づいて算出される参加全チームの交通費総額と、本協会による補助金総額の差額より算出される、1チームあたりの自己負担標準額（全チーム同額）をそれぞれ超える金額を補助する。なお、チームあたりの交通費が自己負担標準額を下回る場合、補助はされない。

- ① 1チームあたり18名分まで
- ② 下記の基準に基づくチーム所在地より試合開催競技場の最寄り駅まで
  - 1区間100km未満は在来線普通料金
  - 1区間100km以上は特急普通指定料金  
(ただし新幹線のみで200km以上は新幹線料金を含む)

- (2) 宿泊について

宿泊費の補助として、1泊1人5,000円を1チームあたり18名分までを、原則として試合前日泊が必要な場合について支給する。(但し近隣地(100km未満)を除く)

- (3) 交通・宿泊の斡旋は行わないので、チームの責任において手配すること。

## 20. 傷害補償

参加チームは必ず傷害保険に加入していること。尚、主管者(主管サッカー協会)は、試合会場での応急処置のみを行うものとする。

21. 組合せ (財)日本サッカー協会において抽選を行い決定する。

## 22. その他

- (1) 各試合の登録選手は選手証(写真貼付されたもの)を試合会場に持参すること。不携帯の選手は当該試合への出場を認めない。
- (2) 本大会において規律・フェアプレー委員会を組織し、委員長は女子大会部会長が兼任する。規律・フェアプレー委員会の委員人選については委員長に一任する。
- (3) 各試合競技開始時間の70分前にマッチコーディネーションミーティングを開催する。マッチコーディネーションミーティングにおいてメンバー登録用紙の回収、両チームのユニフォームの決定、諸注意事項の説明等を行う。
- (4) 大会規定に違反し、その他不都合な行為のあった時は、そのチームの出場を停止する。
- (5) 大会要項に規定されていない事項については女子委員会において協議の上決定する。
- (6) 代表者会議: 2012年1月2日(月)
- (7) 開会式は実施しない。

以上